

# 目次

---

## まえがき

1. 研究成果 .....	1
1.1 地球温暖化対策に関する研究.....	3
1) 公共緑地における土壌のCO <sub>2</sub> 固定に関する研究 【試験研究費】 .....	5
2) 都市緑化樹木のCO <sub>2</sub> 固定量算定における精度向上に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	9
1.2 環境影響評価の技術支援に関する研究 .....	15
3) 福島県内樹上性哺乳類及び両生爬虫類の道路横断施設の開発調査 【地方整備局等依頼経費】 .....	17
1.3 外来生物等への的確な対応に関する研究 .....	21
4) 河川管理における外来種対策調査 【河川事業調査費】 .....	23
1.4 景観の保全と再生に向けた技術支援に関する研究.....	29
5) 公共事業の景観創出が地域のまちづくりに及ぼす効果に関する研究 【試験研究費】 .....	31
6) 災害時における歴史的風致の維持に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	41
7) 公共事業における景観検討の高度化に関する調査 景観アセスメントシステムの改善に関する検討 【河川事業調査費・河川総合開発事業調査費・道路調査費】 .....	51
1.5 都市緑地の施工・管理の高度化に関する研究 .....	53
8) 公園樹木管理の高度化に関する研究 【国営公園等事業調査費】 .....	55
9) 道路緑化における効果的・効率的な施工・管理手法に関する研究 【道路調査費】 .....	61

<b>2. 発表論文等*</b> .....	<b>65</b>
<b>2.1 論文・技術報告等</b> .....	<b>67</b>
1) 栃木県真岡市の切土のり面における駆除処理2年後のイタチハギの再生状況 .....	69
2) 地上型レーザースキャナを用いた樹木の形状及び体積計測の試み .....	74
3) 歴史的風致維持向上計画にみる歴史まちづくりの現状と土木史研究に期待される役割 ....	78
4) 礫河原におけるオオキンケイギク埋土種子の表土はぎとりによる除去効果 .....	93
5) オオキンケイギクが侵入した河川敷における表土はぎとりによる 礫河原植生の再生効果 .....	97
<b>2.2 学会・シンポジウム要旨</b> .....	<b>103</b>
6) 公共事業の景観創出が地域のまちづくりに及ぼす効果に関する研究 .....	105
7) 公共事業における景観整備効果の経済評価手法に関する一考察 .....	115
8) 歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価システムの構築に関する報告 .....	121
9) 斜里エコロードにおける GPS 首輪を利用したエゾシカのモニタリング .....	131
10) Road ecology in Japan –mitigation for wildlife– .....	139
<b>2.3 雑誌・特集記事等</b> .....	<b>141</b>
11) ゴルフ場の生物多様性保全に向けて .....	143
12) 樹木の可視化技術の現状 .....	146
13) 地域生態系保全のための緑化技術の開発 .....	150
14) 奥多摩橋 —住民の想いがつないだ橋— .....	156
15) 生物多様性とのにり面緑化 —外来種を用いないのにり面緑化手法の確立— .....	158
16) 豊かでうるおいのある道路空間をめざして ～道路緑化技術基準の変遷～ .....	162
17) 緑化のにり面におけるイタチハギの駆除処理と再生 .....	166
18) 施肥量の違いが埋土種子の発芽および初期成長に及ぼす影響 .....	169
<b>2.4 出典</b> .....	<b>173</b>
<b>刊行資料（過去5年間）</b> .....	<b>177</b>

※第2章に掲載した論文等は各団体から転載の許可を得て掲載しております。

なお、著作権は各団体に帰属するため、転載を禁じます。